

国有林防災ボランティアの皆さんと共同でドローンによる森林被害調査を実施

平成30年7月11日

高知中部森林管理署

高知中部森林管理署では、今回の豪雨による森林被害を把握するため、7月9日（月）より、当署職員と国有林防災ボランティアの皆さんとの合同調査を開始しました。

林道等によるアクセスが困難な被害箇所等については、当署が保有する無人航空機（ドローン）を活用し、国有林や隣接する民有林被害の把握に努めており、ドローンの空撮で得られた民有林被害のデータについては、地元市町村等の関係機関に情報を提供しています。

高知中部森林管理署では、引き続き、関係機関と連携を図りつつ、迅速な被災状況調査に取り組んでまいります。



ドローンで撮影した民有林の被害状況（関係機関に情報提供）



図面と現地を確認する職員